



赤麻小だより



令和4年度 第10号

令和4年11月2日

発行：栃木市立赤麻小学校長 印部 稔

【学校教育目標】 あかるい子 かしい子 たくまい子

11月になりました。2学期も後半に入りました。10月は各学年の行事がそれぞれ順調に行われました。今号では10月の3週目以降に実施された行事等の様子をお知らせします。

赤麻地区クリーン作戦に参加

10月9日(日)、「ハートランドまちづくり隊」主催の「赤麻地区クリーン作戦」が行われ、本校からも17名の児童と22名のご家族の皆様、4名の職員が参加しました。赤麻小学校前通りを中心に、Aコースの2グループ(時計回り・反時計回り)、Bコースの2グループの計4グループに分かれて、約2時間、約2.2km程の道のゴミ拾いを行いました。参加した子どもたちもゴミ袋やトンゴを手に、一生懸命にゴミ拾いをしていました。空き缶やペットボトル、燃えるゴミ、燃えないゴミなどが大量に拾われて、終わってみれば集められたゴミは30袋ほどになりました。自分の生まれた地域、お世話になっている地域に感謝し、自分の住んでいる地域をきれいにしようという気持ちを育てる、よい機会になったと思います。



GIGAスクール構想の推進・その2

10月12日(水)、学校課題研究の授業研究会を行いました。栃木市教委の指導主事をお招きし、5校時の5年生社会科の授業を元に、放課後、研究会を行いました。学校課題の研究テーマについては「赤麻小だより第4号」でお知らせしましたが、ICT(特にGIGAタブレット)を授業の中でどのように活用すれば子どもたちの「自ら考え、思いや考えを分かりやすく伝え合う力を高める指導」になるのかを中心に協議を行い、最後に指導主事の先生から指導、助言をいただきました。今回の授業では「これからの食料生産」の単元を取り上げ、日本の食料自給率等を学習した後に、自給率を上げるための国の政策「食生活を米中心にしていくために、給食のご飯の日を増やす」ことをどう思うか話し合いました。その際に各自タブレットに自分の立場(賛成か反対か)を示し、話し合う中で立場を変えなくなったら、タブレットを操作して変える、という形の活用をしました。子どもたちの立場からすれば、友達の立場が一目瞭然と、教師の側からは子どもたちの考えの揺れ動きがすぐに分かり、それを元にさらに揺さぶる資料を提示したり、発問をしたりすることができました。授業研究会では、職員から「とても有効な活用の仕方、授業でぜひ活用してみたい」という声が挙がっていました。子どもたちに目指す力を身につけさせるためには、何といたっても指導する教員の指導力を高めていくことが大切です。今後も、他の教科や学年の授業を見せ合い、さらにタブレットの効果的な活用の仕方を研究していきます。



1, 2年生がさつまいも掘りを実施

10月13日(木)、1, 2年生が生活科の学習でいも掘りを行いました。5月に苗を植え

たさつまいもの収穫です。今回も祖父母の皆様やボランティアの皆様、合計30名という、たくさんの方々のお力をお借りして実施することができました。今年は夏の猛暑などの異常気象のせいか、昨年と比べて収穫量がやや少なめだったようですが、子どもたちはボランティアさんと一緒に一生懸命に、そして楽しくもを掘っていました。子どもたちからは「みんなで協力しながらとれたので楽しかった」「楽しくてうれしくて、またやりたい」「ボランティアさんに手伝ってもらったおかげでたくさん掘ることができたので感謝したい」等の感想が出されていました。ボランティアの皆様、ありがとうございました。そして今年も畑をお貸しいただいた亀田様、事前に畑を整備していただいた萩原様、苗を提供していただいた小堀農園様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



2回目の体力向上エキスパートティーチャーの実技指導を実施

10月14日(金)、3年生～6年生が今年度2回目となる体力向上エキスパートティーチャーによる実技指導を実施しました。今回は運動会も近いということで、リレーのバトンパスの実技指導を受けました。リレーなので本来は校庭で実施する予定でしたが、あいにくの雨となってしまったため、体育館での授業となりました。まず初めに床に置いた梯子を使って、歩数を変えたり、速さを変えたり、足を着く位置を変えたりする等、色々な足の動きを練習しました。その後、バトンパスの基本的な方法を具体的に教えてもらってグループごとに練習し、最後に実際にリレーを行いました。バトンをもらう手を横に出すことや、親指を下にすること、バトンは右手でもらって左手に持ち替えて渡すこと等、本格的なバトンパスのやり方を教えてもらいました。子どもたちからは「運動会のリレーで生かしたい」という声が聞かれました。運動会でこの授業の成果が出せるよう、大いに期待したいと思います。



5年生が宿泊学習を実施

10月18日(火)・19日(水)、5年生が宿泊学習に行ってきました。今年度は3年ぶりに茨城県のとちぎ海浜自然の家での1泊2日の宿泊学習となりました。1日目は塩づくりとつぼ焼き芋、ナイトハイキングを行いました。塩づくりは、藤岡地区の他の小学校との交流活動でした。2日目は砂浜活動を行いました。海岸でビーチフラッグや潮汲みリレー、砂の造形等を楽しみました。心配された天候も2日間とも問題なく、予定通りの活動ができました。子どもたちは振り返りで「塩づくりは火をおこすのが大変だったけど、みんなと協力してできてうれしかった」「幼稚園の時の友達や他の学校の人と話せてよかった」「夜の海は波の音が大きくて、きれいで感動した」「海のよさや恐ろしさを知ったり、海の生き物が見られたりしてよかった」「班の人と一緒に考えて行動できて楽しかった」等の感想を書いていました。9月の新型コロナウイルスの感染拡大で予定通り実施できるか少し心配されていた宿泊学習でしたが、無事実施できて、5年生の子どもたちのよい思い出ができたことは大変うれしいことです。準備や健康管理、下校時のお迎え等、保護者の皆様のご協力、ありがとうございました。



【塩づくり】

【ビーチフラッグ】

【砂の造形】

【潮汲みリレー】